



図案の全体を誇り高い鷲にまとめた。胴体は「上田」の文字で骨組み、中央のとがった三角形は、無限の可能性と発展を表す。大空に羽ばたく上田小学校のシンボルである。

うえたっ子 2月

インフルエンザにもご用心!

月日が経つのは早いもので、明日から2月となります。子どもたちの正月気分もとっくに抜け、「学校モード全開!」といった感じで楽しく過ごしています。今年度の登校日もあと34日(6年生は33日)となりました。学校では、現学年の学習内容をしっかりと定着させ、次学年にたすきをつないでいくため、各学年・学級とも学習のまとめに余念がありません。ご家庭でも引き続き、家庭学習のチェックやサイン、声かけ等のご協力をお願いします。また、時期的にインフルエンザや胃腸炎等も気になります。生活リズムを整え、「早起き、早寝、朝ごはん」で、健康管理もよろしくお祈りします。

適度なストレス ~沖縄の桜を見て考えました~

通勤途中、家々の桜のピンクの花に、季節感のないといわれる南国沖縄にも、春の足音を感じる今日この頃です。全国的には「桜前線」は南から北に北上していきのですが、沖縄の桜は北から南へとだんだん南下してきます。それは何故でしょうか? 沖縄の桜はカンヒザクラ(寒緋桜)と呼ばれ、本土の一般的な桜、ソメイヨシノとは違うのです。花芽は夏頃に作られ、それから休眠状態に入ります。その後、一定期間寒さにさらされてから目を覚まし、咲き始めるのだそうです。それで、せまい地域でいうなら、気温の低い山の上から麓へ、広く考えると北から南(やんばるから島尻)に向かって移動するんですね。話は少し変わりますが、あるテレビ番組でみかん農家の方が、「みかんは、枝先についている実の方が甘くなる。」と言っていました。日当たりが同じくらいなら、揺れ幅の大きな枝先の方が甘くなるんだそうです。「寒さ」とか「揺れ」が適度なストレスとなり、花を咲かせたり甘くしたりするんですね。そういえば、チューリップを植え付ける前にしばらく冷蔵庫で寝かせておきます。春咲きの球根に冬の低い温度を体験させる春化処理というそうです。



学校生活においても「適度なストレス」は必要だと考えます。家庭学習や学校からの課題、テストや発表前の緊張感、友だちとの人間関係、いろいろな成功や失敗体験etc…。適度のプレッシャーや競争、緊張や不安は、子どもたちを成長させる要素になると思います。逃げ出さず、諦めず、最後までやり遂げたときの喜びや達成感は、必ず本人の自信に繋がります。たとえうまくいなくても、しっかりと意味づけができ、そこから学ぶものがあれば、それは失敗ではなく、次の成功に繋がるものです。

学校ではそのように考え、子どもたちを見守りながら接しています。しかし、不十分な時には、一番身近にいる保護者や家族の皆様にもフォローしていただきたいと思えます。お子さんの様子が「いつもと違うな」と感じたら、子どもからのサインと捉え、是非担任と連絡をとりあていただきたいと思えます。もちろん、ストレスの感じ方にもかなりの個人差がありますので、子どもたちの実態に応じて、適切に対応していきたいと考えています。



1/29

みんなで楽しく「パプリカ」踊りました! ~音楽朝会~

今年度最後の音楽朝会が行われました。今回は、4・5・6年生の発表と全校児童で元気に「パプリカ」を歌って踊りました。4年生は、「ゆかいに歩けば」「ソラシドマーチ」を合唱とリコーダー演奏で聴かせてくれました。今回、4年生は、指揮者の希望者が多く、オーディションをして2名に決めたそうです。5年生は、「威風堂々」を、6年生は、「さんぽ」をリコーダーの二部合奏で聴かせてくれました。最後は、みんなで元気に「パプリカ」を歌って踊りました。みんなとても上手でした。



4年生の演奏の様子

発表 お疲れ様でした

1/18~1/19 第61回沖縄県PTA研究八重山大会が石垣市で開催され、野原PTA会長と島袋教頭が、本校PTAの活動の様子を発表して参りました。野原会長は「楽しく学び、体験する機会をPTAで考える」と題して、親子護身術講座やこれまで実施したいいろいろな取り組みを紹介しました。大変お疲れ様でした。



しまくとぅばで「耳グスイ」コーナー

ハル ☆畑 チュク 作てい、 シチ 節 待てい 【意味】畑(を)作って、節(を)待て。

【解説】畑をしっかりと耕して、植え付けの時節がくるのを待て、と言う意味。作物にはそれぞれ種や苗を植え付ける時期が決まっている。例えば、麦類は、寒路の節に種を蒔く。もしそれに遅れると豊作は望めない。収穫を増やすには、時節に備え前もって畑を耕しておくが必要になる。それは物事についても同じこと。例えば試験でも、ふだんから勉強していかないと良い結果が得られない。事を上手く運びたいなら、いざという時に備えて、前もって準備しなさいという教え。「備えあれば憂いなし」に類する黄金言葉。「明日もあるさー」というのんきに使われる。豊作を夢見て、ゆっくりゆっくり重たい鉄で耕し続ける農夫の姿。物事の成功における準備の大切さが伝わってくる。(黄金言葉 ウチナンチュウが伝えることわざ200編 仲村優子・編著)



「めるぼん」(学校メーリングサービス)の登録をお願いします。

学校から配信されるお知らせや不審者情報等をリアルタイムで受信できる「めるぼん」への登録をお願いします。なお、登録方法につきましては、学校HPをご覧ください。



☆「上田小ホームページ」では各種たよりをカラーでご覧いただけます。

- ①「豊見城市立上田小学校」で検索する
- ②【http://elue.city.tomigusuku.okinawa.jp/index.jsp】
- ③【豊見城市ホームページ】→【教育・スポーツ】→【学校・教育】→【小中学校に関すること】→【市立小中学校一覧】→【上田小学校】



1/19

5年保護者の皆さんを中心に「十三祝い」が盛大に行われました。沖縄では、生まれ年の十二支が巡ってくる12年ごと(数え年13・25・37・49・61・73・85・97...)に無病息災を願ってお祝いする習慣があり、13歳はその1回目です。本来は各家庭で行われるものですが、上田小では、例年、5学年のPTA学年行事として合同でお祝いしています。

昔は、13歳といえば一人前とみなされ、特に女の子にとって「十三祝い」は、生家で祝える最初で最後のトウシビーになることが多く、親としては娘のため盛大に祝い膳をつくり、晴れ着を着せて娘の成長を祈願したようです。

祝いの会は、5年担任4名による「かぎやで風(?)」で幕を開け、記念品の贈呈やエイサー、じゃんけん大会、もちつき大会などで大いに盛り上がりました。

